

教師も積極的に活用してみませんか？

D-proBooksの作成は、読み手にも作り手にも意味があります。

各地域・学校では、補正予算に絡んで、1人1台の端末環境が実現することで大いに盛り上がっています。でもここで、いったん冷静になって考えてみます。どんな授業が実現できそうですか。どんな授業をやってみたいですか。

ある自治体関係者と話をした際に、その方から出た小さな声を今も鮮明に覚えています。

「環境整備が進んでも、わたしたち教師の授業が変わらなければ意味が無い」

ネットワークの環境整備と共に1人1台の端末環境が実現したら、どんな授業ができるのか、ワクワク・ドキドキしながらみんなで考えたい。だからこそ、どんな小さな実践でもよいのです。地域を越えて教師の同僚性を高めるために、ぜひご自身の実践をまとめてみてください。実践をまとめることは、教師の力量形成につながると言われています（例えば、反省的実践家という言葉等があります）。

わたしたちD-projectでは、2017年度よりD-proBooksという電子書籍を開発し、発展させていくことで、教育文化の継承、引いては子どもたちの新たな学びの創造に資する取組をはじめています。これまでに約50冊の電子書籍が世に出ています。

昨年度からは取り組みやすいようにテンプレートを用意したり、iPadだけで制作可能で有り、縦書きにも対応したPagesを使用した作品にまで対象を広げました。毎年学生からも応募もあります。3月の春の全国公開研究会が中止となってしまいましたので、ここに最も優れた作品を取り上げ、D-proBooksアワードという形で表彰します。今後も、みなさんの授業づくりの参考にさせていただければと思います。(http://www.d-project.jp/dprobooks/)

D-proBooks 編集長 前田康裕(熊本大学) / 副編集長 小林祐紀(茨城大学)



D-proBooks2019 グランプリ受賞者に聞く!



2019年度 D-proBooksアワードの発表

グランプリ：吉田真緒さん(茨城大学教育学部)

作品名：高等学校「情報科」プレゼンテーションに関する教授用資料「インパクトのある自己紹介プレゼン」

準グランプリ：茗荷谷衣里奈さん(小松市立符津小学校)

作品名：伝えよう自慢のあさがお 1年 生活科「ひとつぶのたねから」



吉田真緒さんへの質問

作品名：高等学校「情報科」プレゼンテーションに関する教授用資料「インパクトのある自己紹介プレゼン」

Q1：このデジタル教材はどのような読者を対象にしていますか。及び使用用途を教えてください。

A1：この教材は、情報化社会が進む中で生きる高校生自身、または社会に出て行く高校生を育成する情報科の教師を対象としています。高校でのプレゼンテーションに関する授業で活用できるような内容を考えました。高校生が初めてプレゼンテーションを行うときや、表現力を意識した授業にも活用できると考えています。

Q2：このデジタル教材の概要と構成を教えてください。

A2：今回作成したデジタル教材は、高等学校「情報科」の中で3時間で実施できる授業について、1時間ずつの指導案とともに解説しています。1ページ目は表紙から始まり、2ページ目で授業全体の構成やポイント等を説明しています。今回は高校生を対象に、効果的なプレゼンテーションとは何かを考えたり実践したりする力の向上を意図した授業を考えました。

プレゼンテーションの題材は、プレゼンする際に誰もが最初に行うであろう“自己紹介”です。3~5ページ目は、右側に1時間ごとの指導案、左側に授業を行う上で特に重要なポイントと解説がまとめてあります。重要なポイントは、葉っぱの記号で示しました。指導案にも同じ記号が割り振られているので、どこが重要なかが一目でわかるように配慮しました。解説は実際に私が動画で説明する形になっています。どんな人が提案しているのか、どんな授業なのかをわかりやすく示すこととはとても重要なポイントだと考えています。

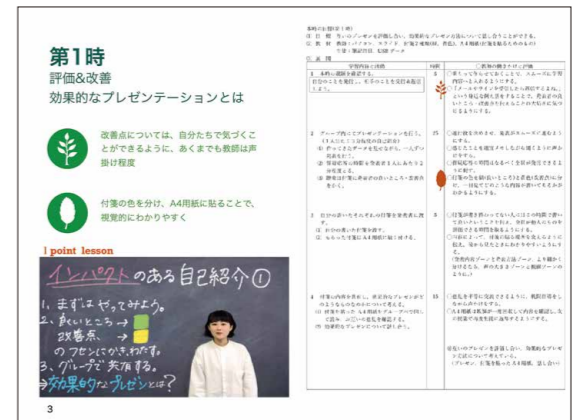
Q3：このデジタル教材の工夫点を教えてください。

A3：デジタル教材の内容は、極めて簡潔です。高校で実際に行うことができるであろう授業構成を、4ページで説明しています。忙しい現職の教師でも、簡単に手にとって目を通すことができるくらいの分量にしました。文字をできるだけ少なくし、動画と記号で表してあるのは教材のポイントです。教材の内容の工夫点については、高校生でもとっつきやすく、かつ将来性のある内容にしたことと、身につける時間をしっかりとっていることです。

プレゼンの授業を行うといえど、内容をどのようなものにするかは誰もが悩むポイントなのではないでしょうか。そんな時は、この教材が提案する授業をぜひ行ってほしいです。



作成した教授用資料の表紙



第1時の指導案と動画によるコメントのページ



D-proBooksアワード出展作品募集中!

<http://www.d-project.jp/dprobooks/>

最終締め切り日 2021年1月31日

- iBooks Authorで作成する場合、上記アドレスからD-proBooksサイトに入りテンプレートをダウンロードする。Pagesで作成する場合、「ブック」サイズのテンプレートを使用する(縦・横どちらでも可)。
- iBooks Author (AppleのWebサイトからダウンロード) またはPagesを使って電子書籍を作成する。
- 作品が完成したら、副編集長小林祐紀(y_k0803@icloud.com)にメールで送る

入賞者の中からもっとも優れた作品を制作された方は、D-proBooksアワードとして表彰され豪華賞品が贈られます。